

2012年3月期 第2四半期決算説明会



大豊工業株式会社

2011年11月21日

- 1 . 2012年3月期 第2四半期実績
- 2 . 2012年3月期 通期業績予測
- 3 . 将来への取り組み

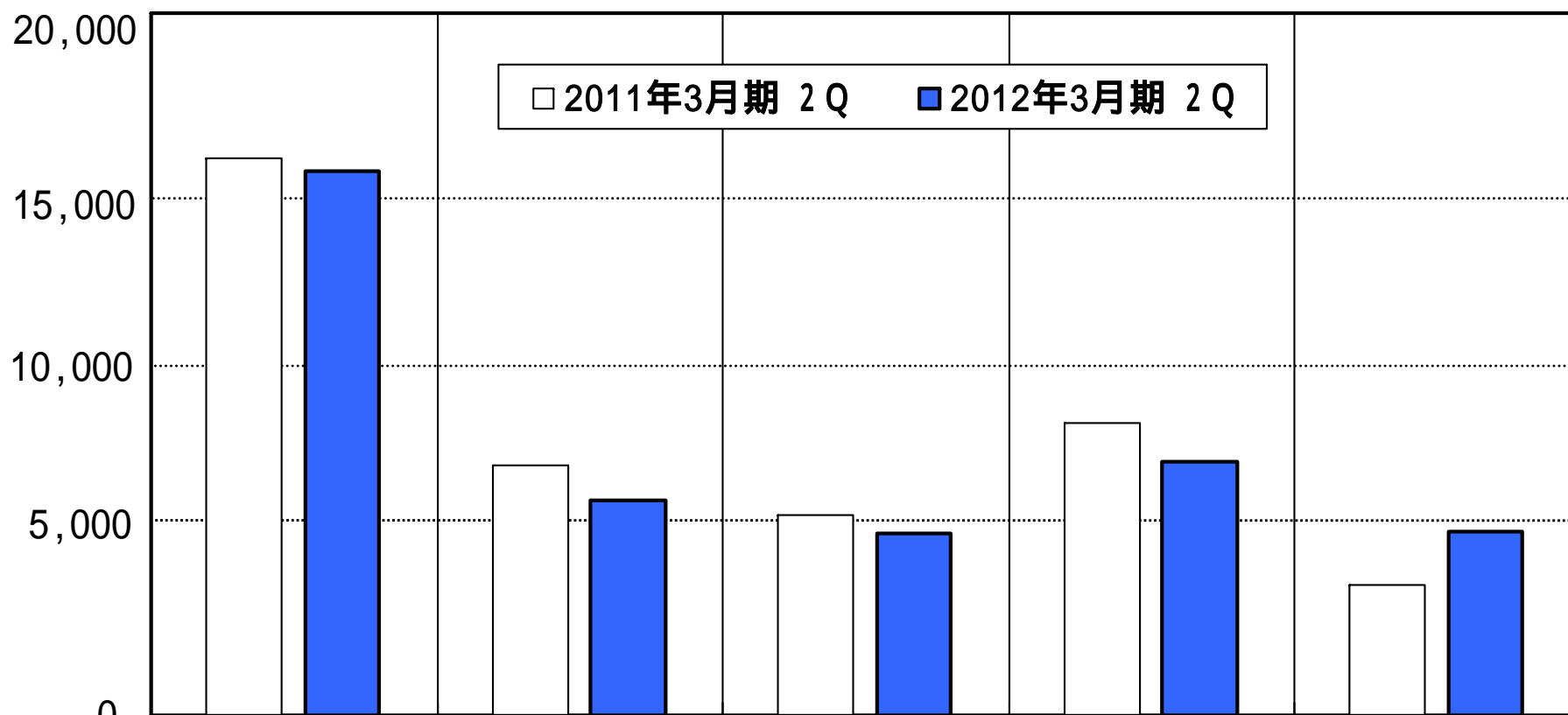
2012年3月期第2四半期（2Q）決算の概況 =連結=

単位：百万円

	2012年3月期 2Q		2011年3月期 2Q実績	増減値 -	増減率
	7月時点予測	実績			
売上高	36,000	37,581	38,893	1,312	3.4%
営業利益	530	889	1,600	711	44.4%
経常利益	730	988	1,711	723	42.2%
四半期純利益	410	582	1,003	421	41.9%
為替レート	80円/ドル 114円/ユーロ	80円/ドル 114円/ユーロ	89円/ドル 114円/ユーロ	9円 0円	10.1% 0%
1株当たり純利益	14.61円	20.75円	35.73円	14.98円	41.9%
トヨタ 世界生産台数	303万台	315万台	369万台	54万台	14.6%

事業別売上高 =連結=

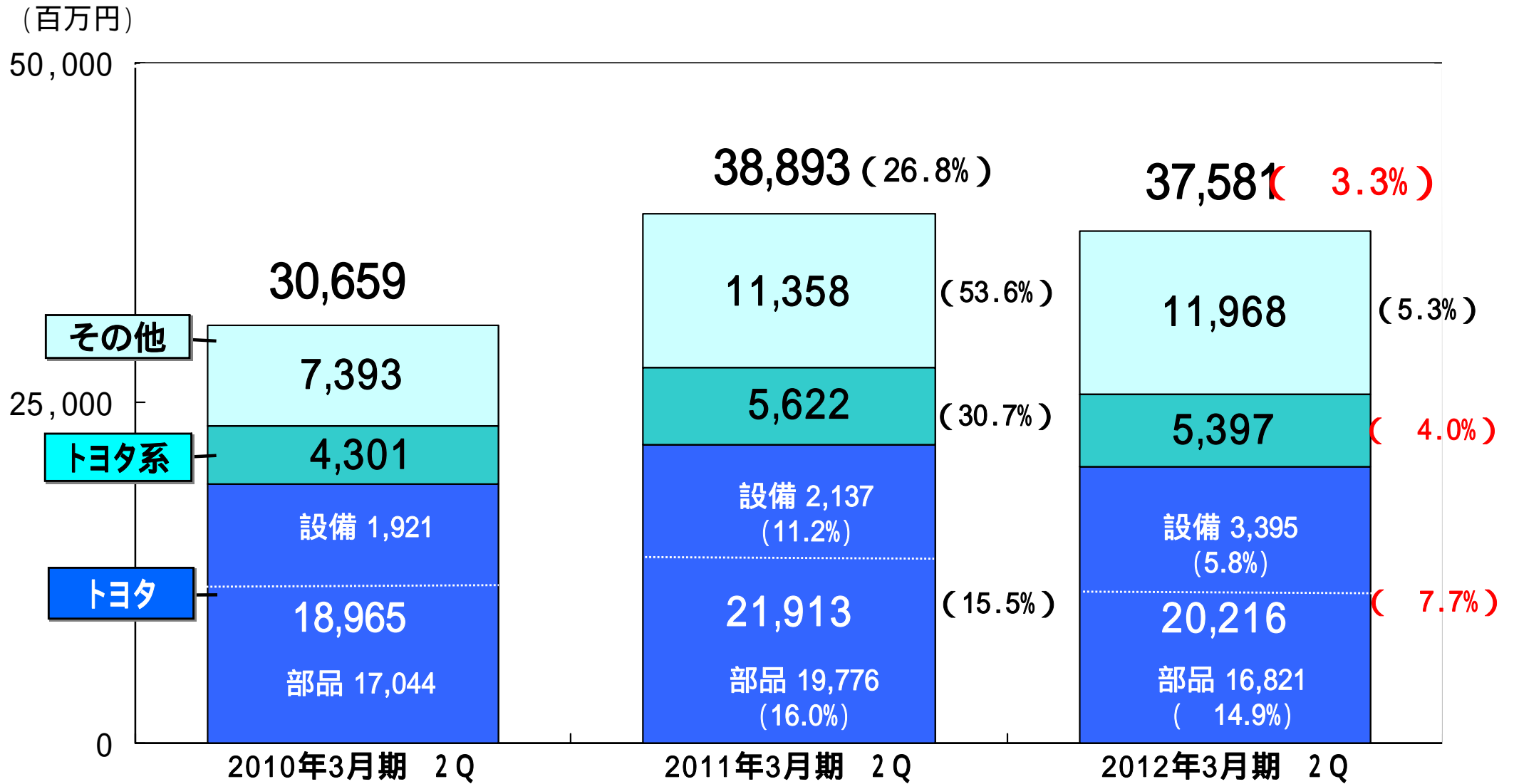
(百万円) 20,000



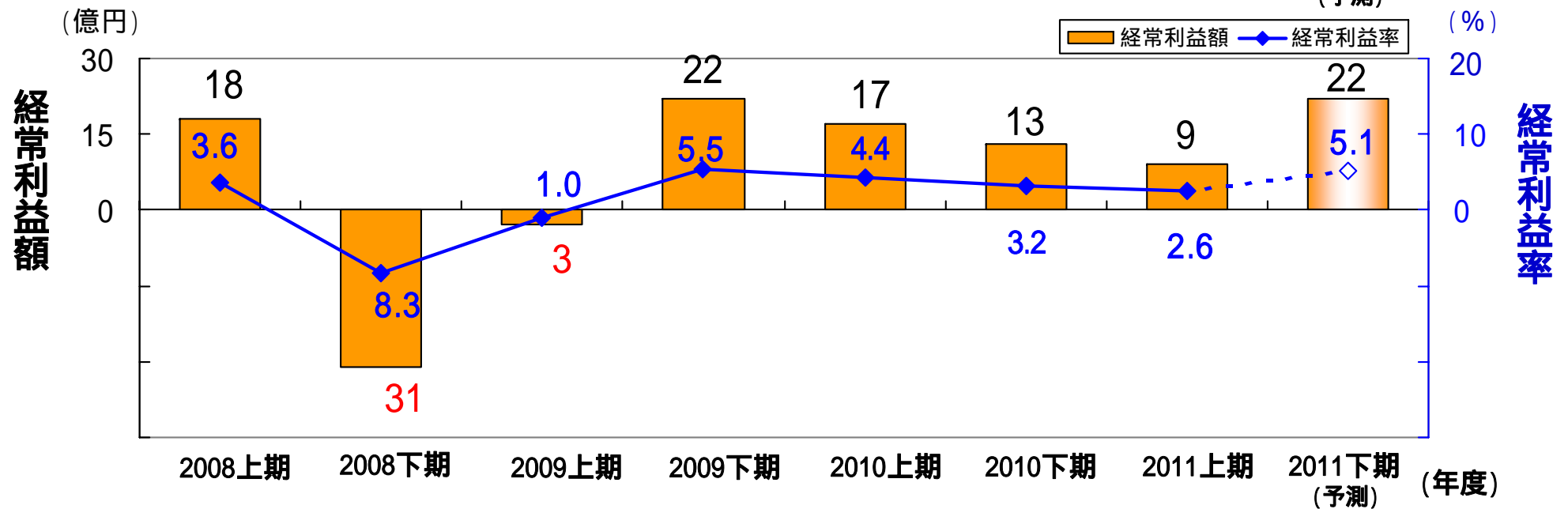
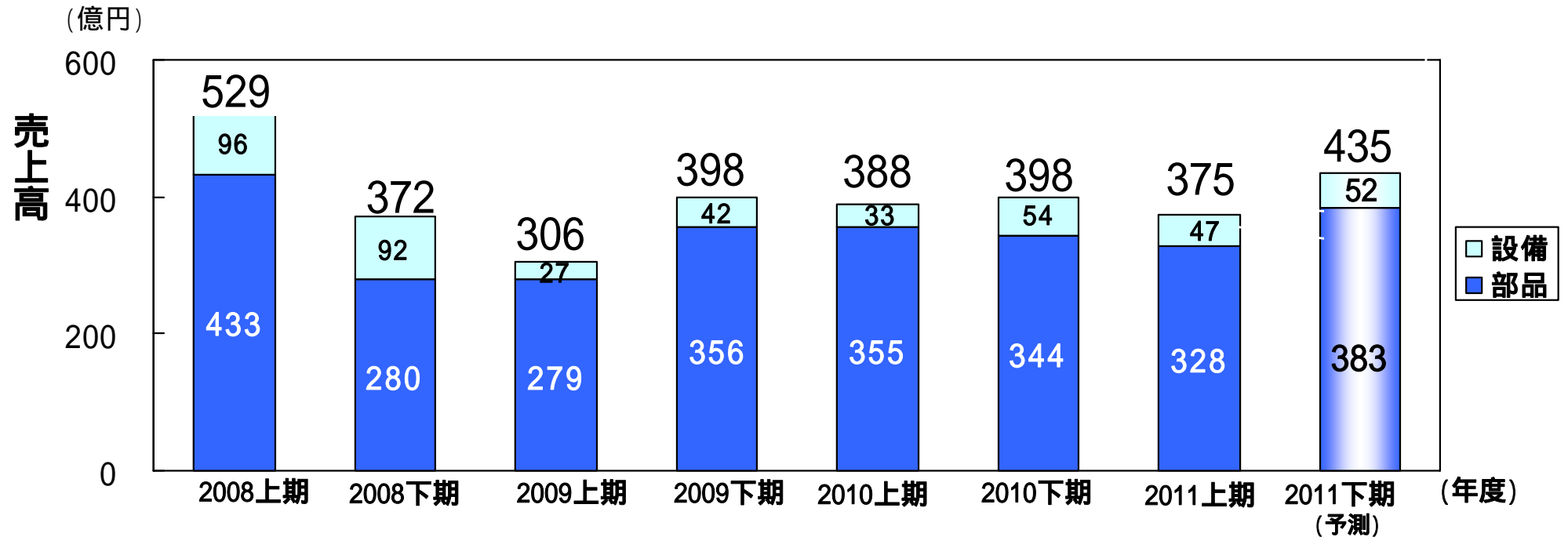
	軸受	ダイカスト	ガスケット	組付製品他	設備
2011年3月期 2 Q	15,738	6,395	5,031	8,269	3,347
2012年3月期 2 Q	15,576	5,498	4,654	7,059	4,696
増減額	161	896	376	1,209	1,348
増減率	1.0%	14.0%	7.5%	14.6%	40.3%

顧客別売上高構成 =連結=

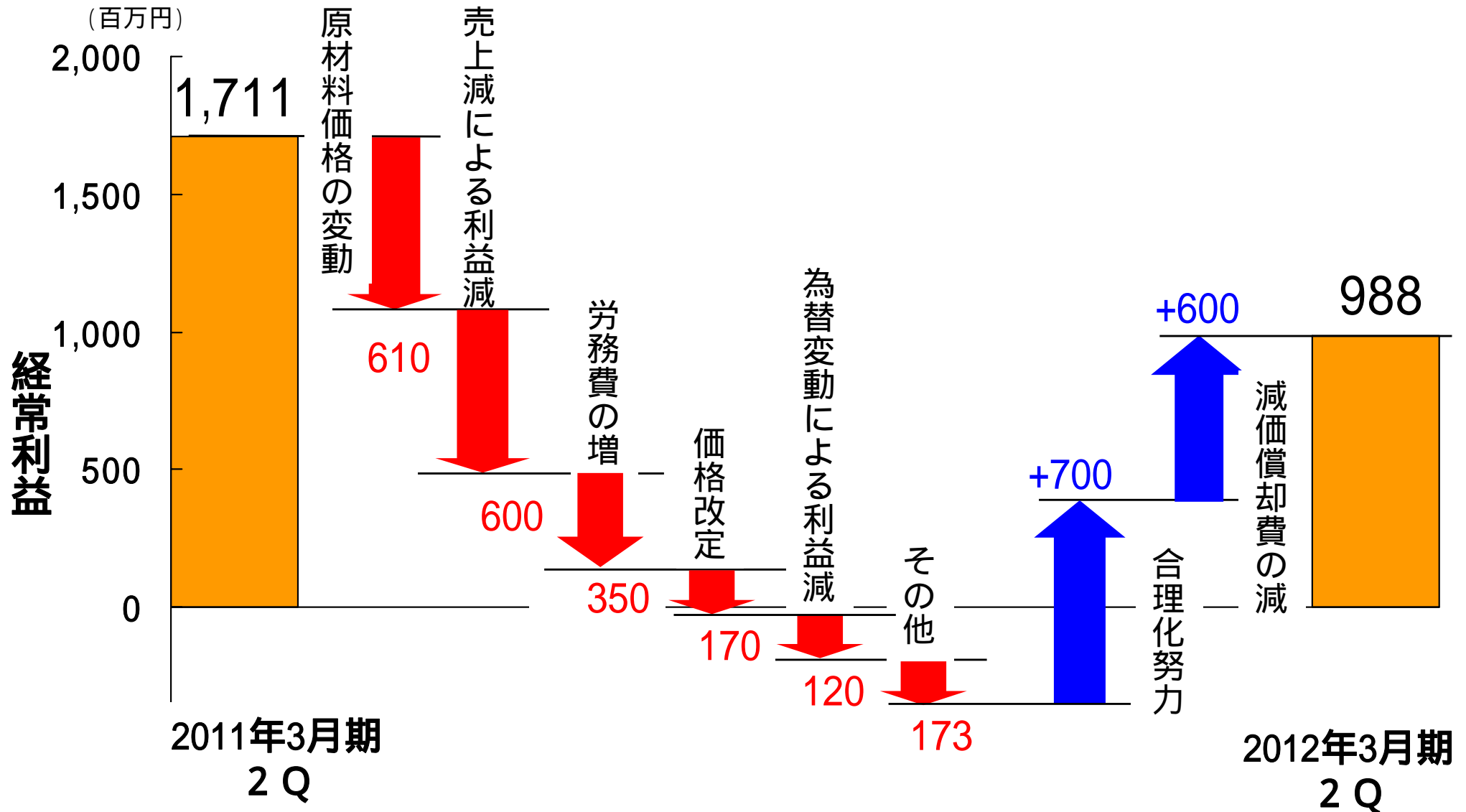
(カッコ内は対前年増減率)



売上高・経常利益の半期比較 = 連結 =

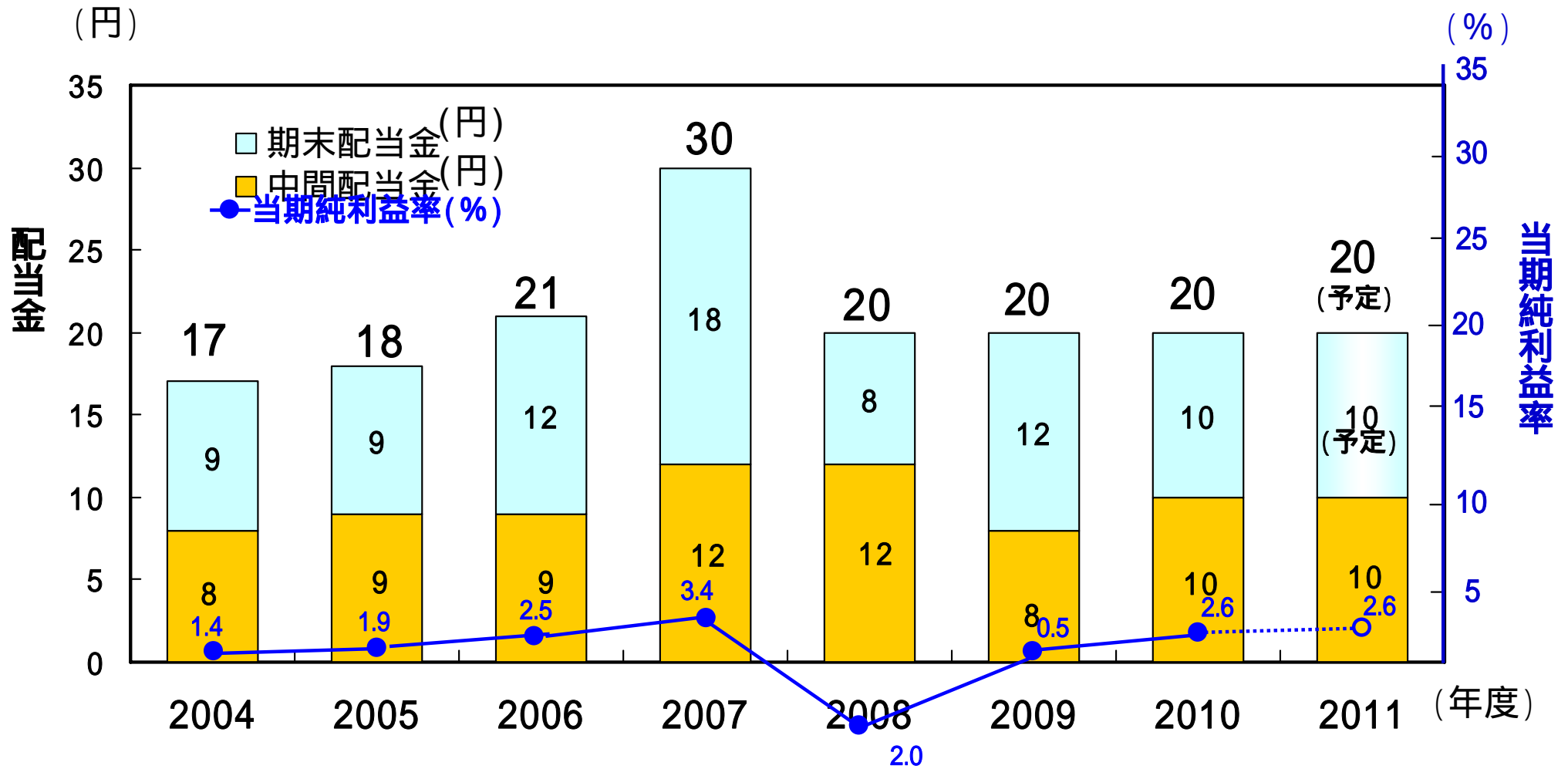


経常利益増減要因(前年同期比) =連結=



経常利益 723百万円の減少

株主還元



長期安定的な配当を実施

1 . 2012年3月期 第2四半期実績

2 . 2012年3月期 通期業績予測

3 . 将来への取り組み

2012年3月期 通期業績予測 =連結=

単位:百万円

	2012年3月期予測	2011年3月期実績	増減値	増減率
売上高	81,000	78,656	2,344	2.9%
営業利益	3,000	2,902	98	3.3%
経常利益	3,100	3,040	60	1.9%
当期純利益	2,100	2,036	64	3.1%
為替レート	77円/ドル 105円/ユーロ	84円/ドル 111円/ユーロ	7円 6円	8.3% 5.4%
1株当たり純利益	74.81円	72.56円	2.25円	3.1%
トヨタ 世界生産台数	739万台	734万台	4万台	0.5%

2012年3月期 事業別売上高予測 =連結=

(百万円)

40,000

30,000

20,000

10,000

0

□ 2011年3月期実績

■ 2012年3月期予測

軸受

ダイカスト

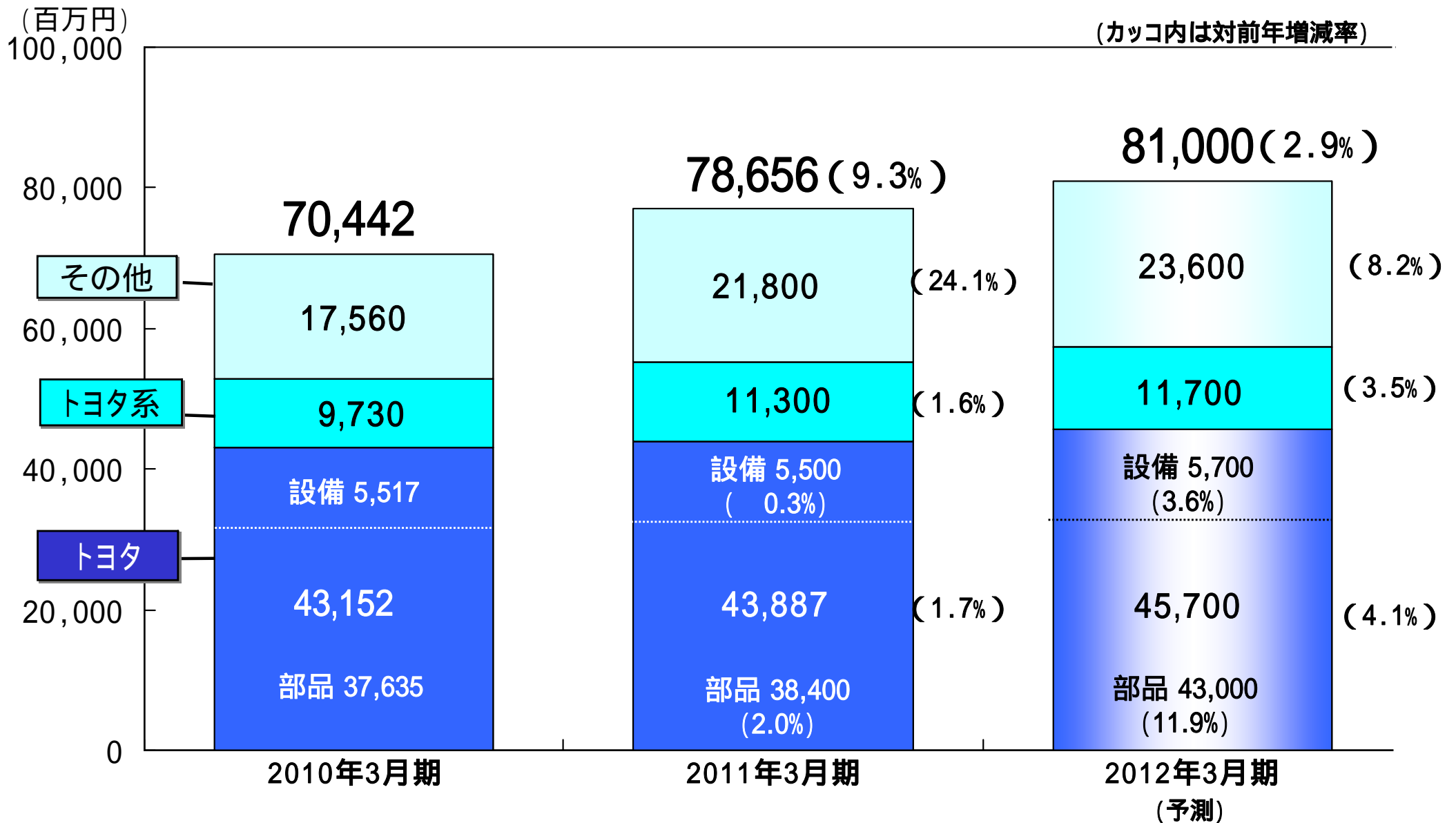
ガスケット

組付製品 他

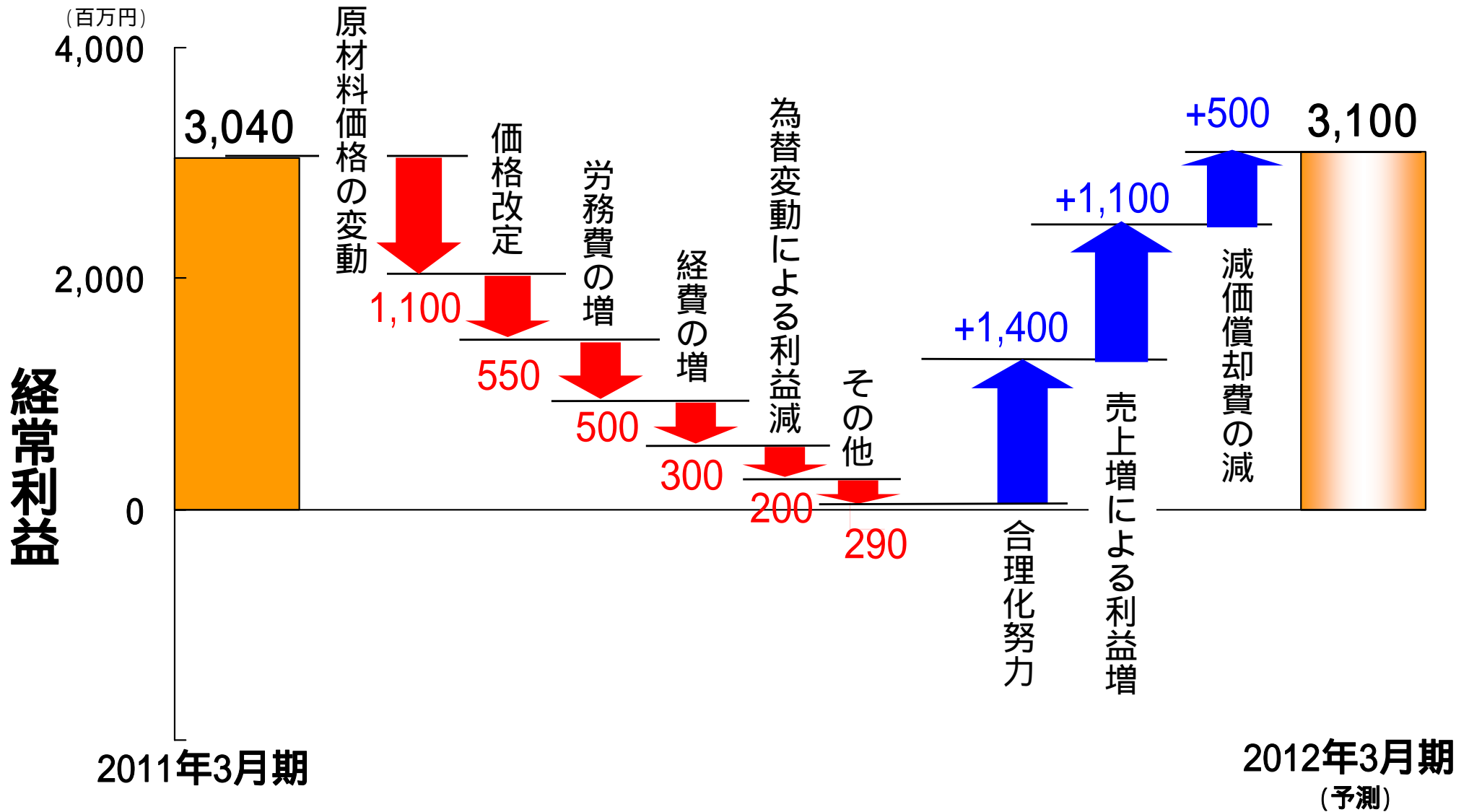
設備

2011年3月期 実績	31,298	13,249	9,824	15,386	8,668
2012年3月期 予測	33,100	12,350	10,450	15,050	9,850
増減額	1,802	899	626	336	1,182
増減率	5.7%	6.7%	6.3%	2.1%	13.6%

2012年3月期 顧客別売上高構成 =連結=

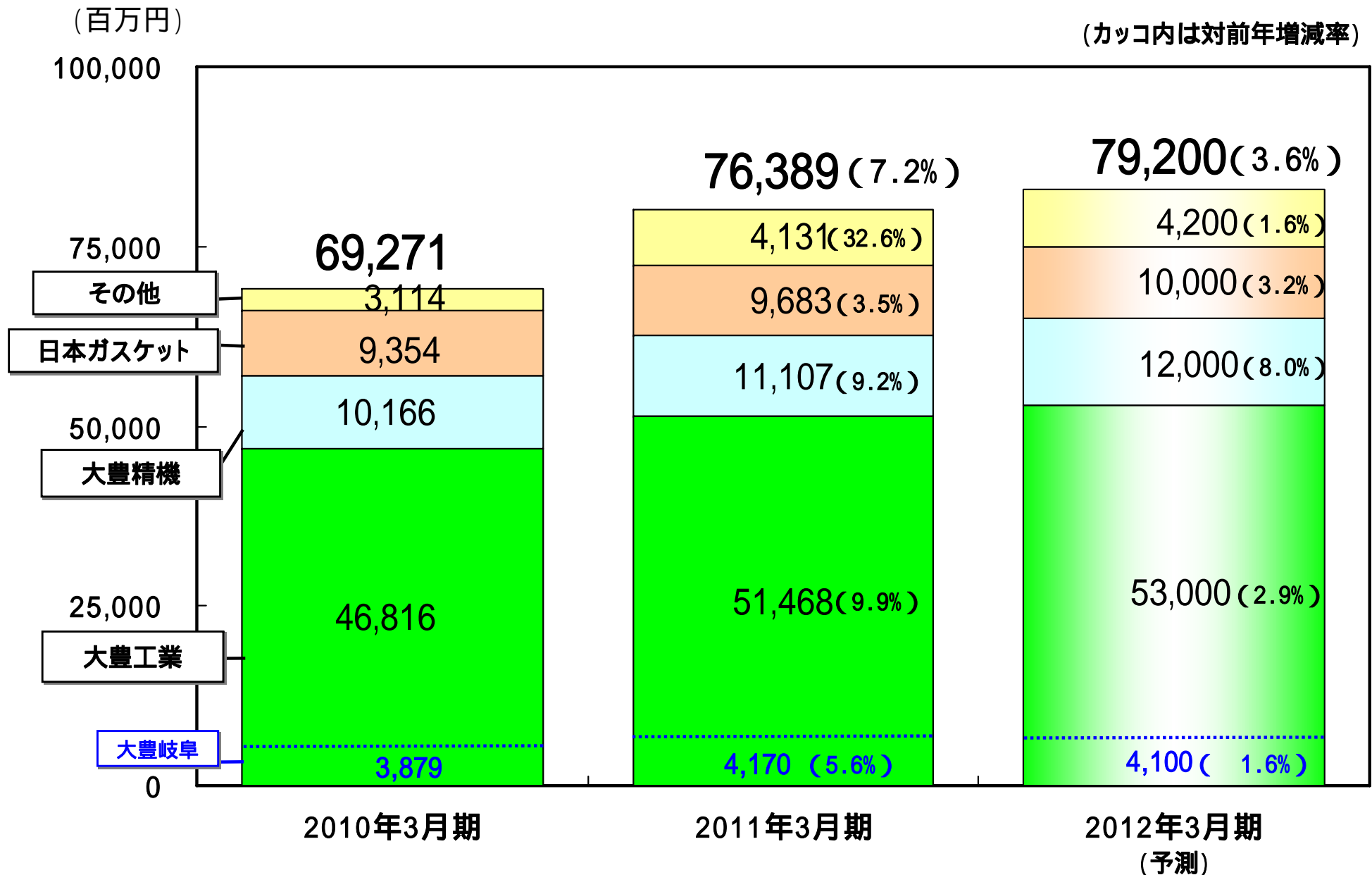


2012年3月期 経常利益増減要因予測(前年比) =連結=



経常利益 60百万円の増加

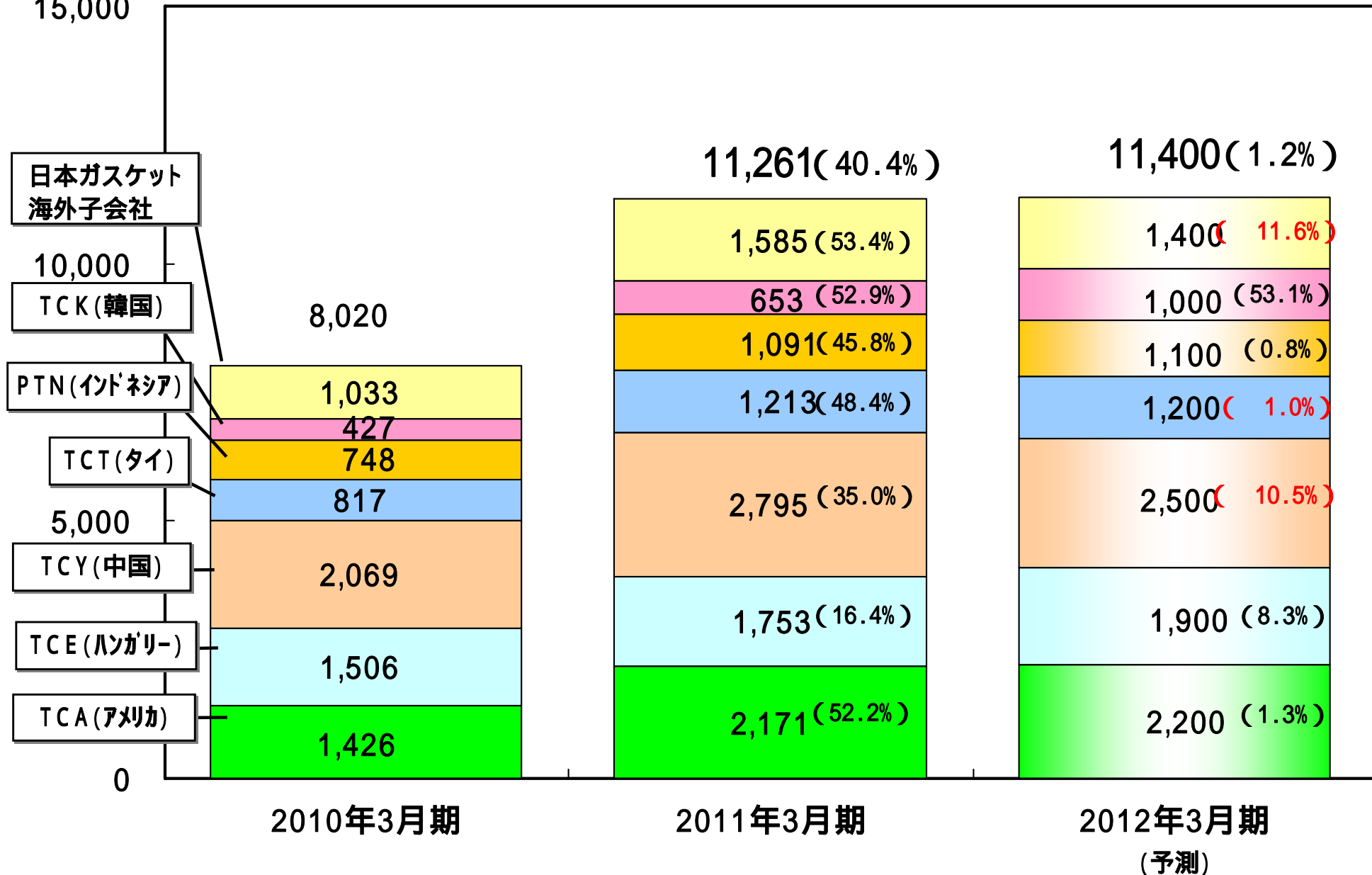
国内連結売上高(連結消去前)



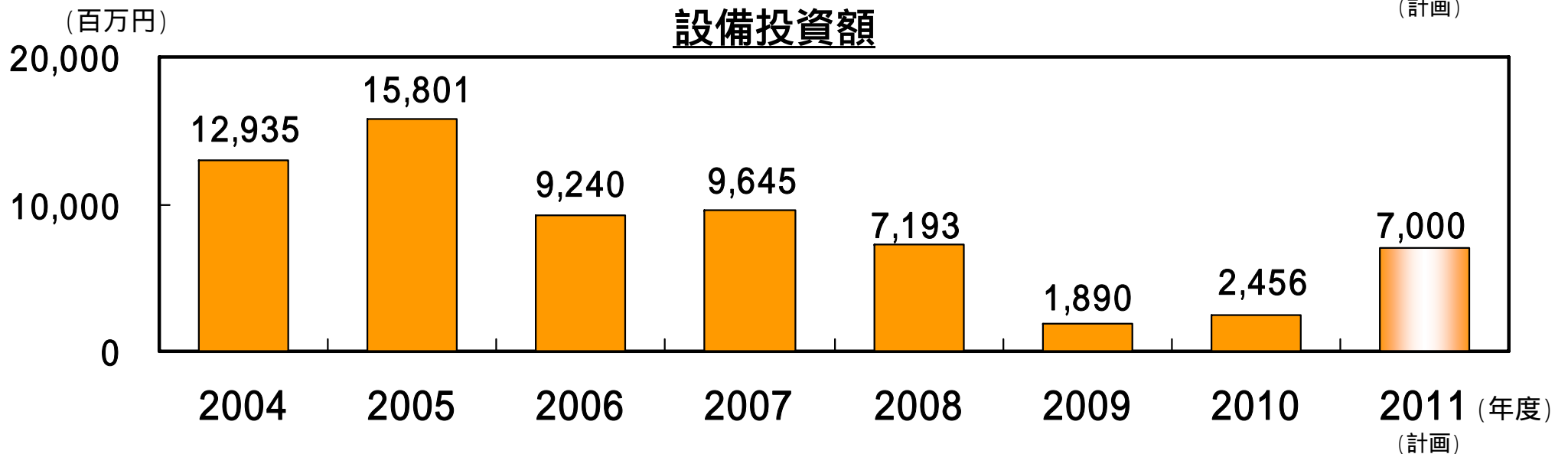
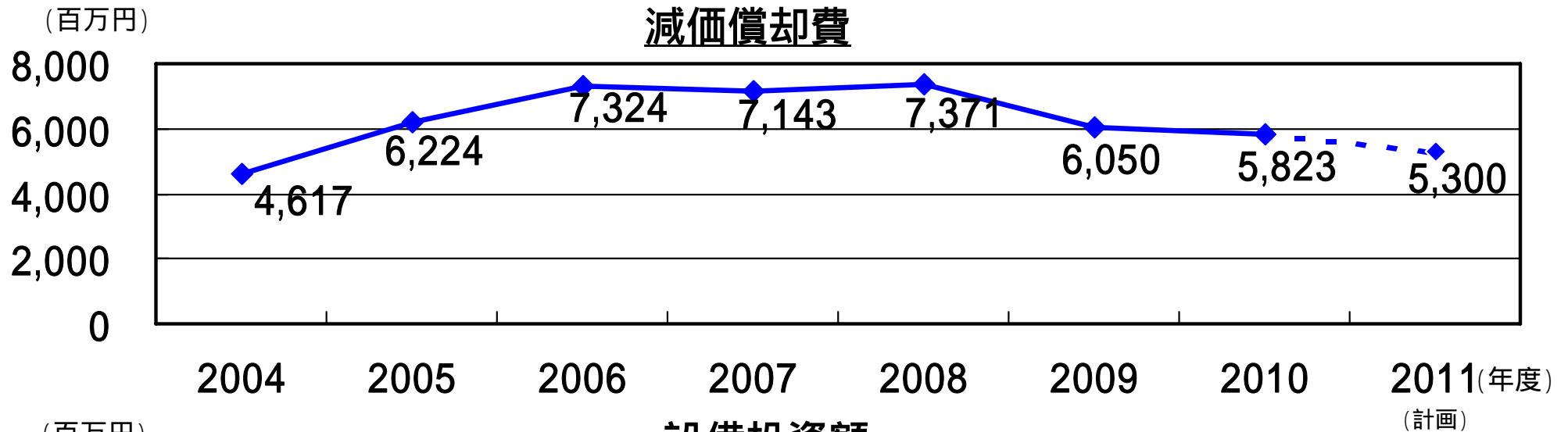
海外連結売上高(連結消去前)

(百万円)
15,000

(カッコ内は対前年増減率)



減価償却費・設備投資額 =連結=



2011年度以降、新規事業開発に向けた積極的な投資を実施

- 1 . 2012年3月期 第2四半期実績
- 2 . 2012年3月期 通期業績予測
- 3 . 将来への取り組み

目指す姿と取り組みの柱

VISION2015の3軸

軸受No.1

環境ブランド

工機事業

活動の3軸

エンジニアリングを
軸とした活動

新工法開発

全社管理システム

Facility
造機



新工法軸受ライン



エンジンベアリング



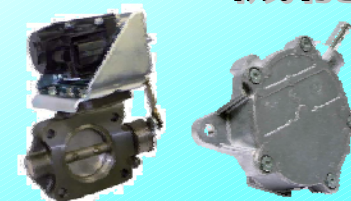
ブシュ



コンプレッサ-部品

Performance

機能



EGRバルブ バキュームポンプ

軸受

新領域

システム部品

Tribology

工機・設備

大豊発祥技術

軽量化部品

シール部品

Casting

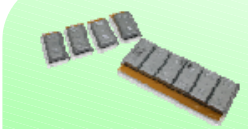
鋳造



アルミダイカスト製品



樹脂製品



バランスウエイト

Stamping
塑性加工



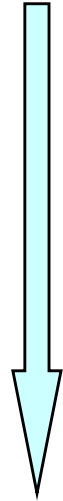
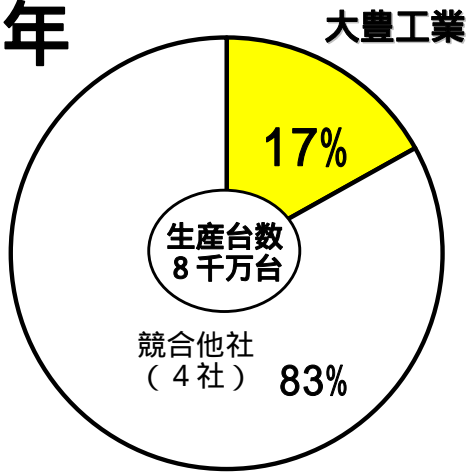
ガスケット

潤滑・トライボロジーを基盤に新技術・新製品を展開

1. 軸受事業(1) = シェア拡大 =

自動車向け軸受のシェア

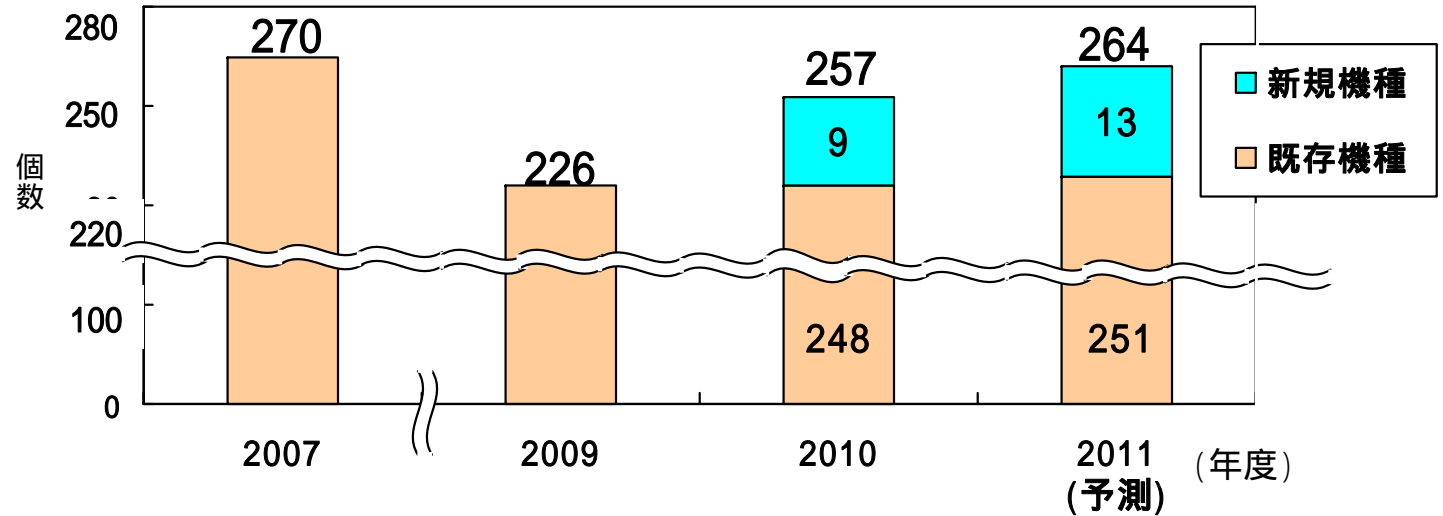
2011年



2015年

トップシェアをめざす








(百万個) エンジンベアリング納入数の推移



拡販対象の領域

乗用車		乗用車以外	
			
ストップ&スタート車	ハイブリッド車	産業車両	トラック系

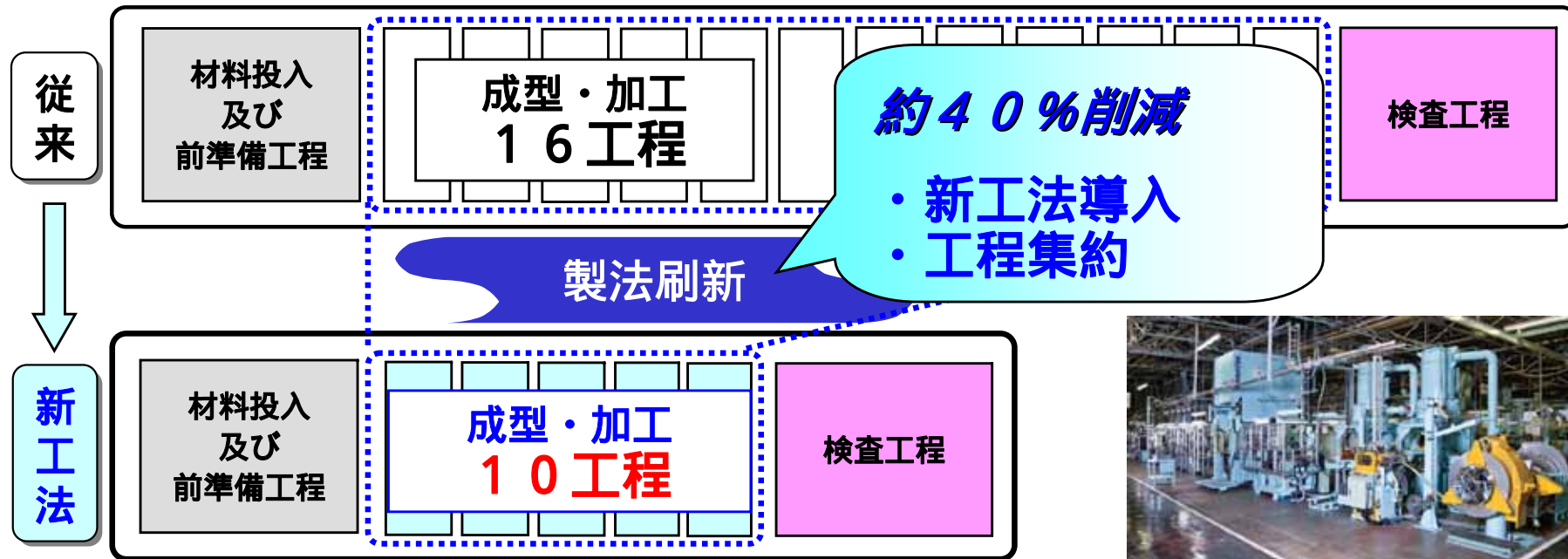
新規顧客、新分野に拡販し、**軸受No.1**を実現

	市場動向	当社の取り組み
乗用車	<ul style="list-style-type: none"> ・新興国向け低価格車の拡大  <ul style="list-style-type: none"> ・低燃費化の加速  <ul style="list-style-type: none"> ・エコカーの普及   <p>ストップ&スタート車 ハイブリッド車</p>	<p>新工法</p> <p>新工法軸受ライン (RRメタル) によるコスト競争力アップ</p>  <p>新工法軸受ライン(細谷工場)</p> <p>高機能軸受</p> <p>樹脂(RA)コート軸受による高負荷・低燃費対応</p>  <p>樹脂(RA)コート軸受</p> <p>海外生産拡大</p> <p>完成車メーカーの海外生産、現地調達対応</p> 
トラック系	<p>ディーゼルエンジンの排ガス低減、低燃費化</p>	
産業車両	<p>鉛フリー化</p>	

新工法軸受(RRメタル)

RR = 良品廉価

- ・エンジンベアリングの「加工ライン」を刷新
- ・2011年度、細谷工場に初導入し、その後、国内外の拠点に展開予定



細谷工場に導入された
エンジンベアリング加工ライン

< 市場投入の考え方 >

1. ASEANを中心とした新興国向け低価格車市場へ投入
2. 既存車種のエンジンベアリング切り替えによるコスト競争力アップ

1. 軸受事業(3) = 事例 : 高機能軸受 = 樹脂(RA)コーティング軸受

軸受

2000	量産品	2011	開発品	2015
<p>表面に樹脂を塗布し摩擦を低減</p>   <p>ライニング 裏金</p>  <p>RAの厚さ 6μm</p> <p>断面図</p> <p>国内外の高級車に採用 採用車種(一例)</p>	<p>高負荷エンジンに対応</p>	<p>1. 低価格車向け軸受 生軸、鋳造軸の クランクシャフトに使用可能 軽自動車、新興国向け低価格車 などへの採用拡大 焼入れ処理をしていない軸</p> <p>2. エコカー対応の新RA軸受 起動トルク30%低減 エンジンの起動停止が多い エコカーへの採用拡大</p>	 <p>ストップ&スタート車</p>  <p>ハイブリッド車</p>	
<p>国内</p> 	<p>海外</p> 			

高級車からエコカーまで、グローバル規模で幅広く採用

1. 軸受事業(3) = 事例 : 海外生産拡大 = 軸受

TCY / 中国

〔欧州、中国現地メーカー
におけるシェア拡大〕

2015年度の生産能力

250万個/月 550万個/月 体制

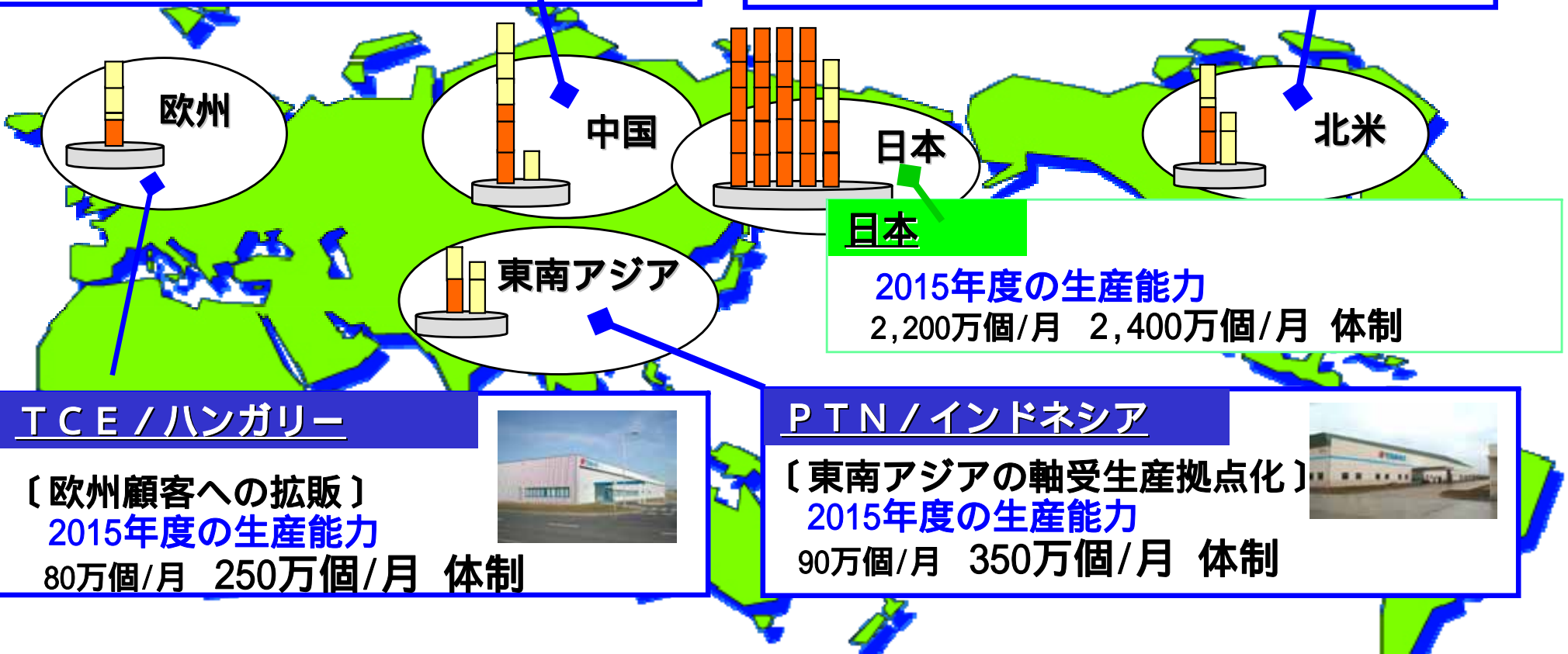


TCA / アメリカ

〔北米市場における
シェア拡大〕

2015年度の生産能力

180万個/月 450万個/月 体制



TCE / ハンガリー

〔欧州顧客への拡販〕

2015年度の生産能力

80万個/月 250万個/月 体制



PTN / インドネシア

〔東南アジアの軸受生産拠点化〕

2015年度の生産能力

90万個/月 350万個/月 体制



グローバル生産能力

2,800万個/月 (2010年度)

4,000万個/月 (2015年度)

2. システム部品 = 事例 : バキュームポンプ =

システム
部品



- ・ブレーキの動力源（負圧）を発生させる装置
- ・トヨタの新動弁機構「バルブマチック」エンジンに採用
- ・エンジンの**低燃費化**と静粛性に貢献

環境対応

【現行品】

バキュームポンプ

主な採用車種

2Lクラスの乗用車



< 今後の動向 >

1. 既存車種のバルブマチックへの切替による採用拡大
2. 電動化による次世代車（HV、EV）への対応



【開発品】
電動バキュームポンプ

2. システム部品 = 事例 : EGRバルブ =

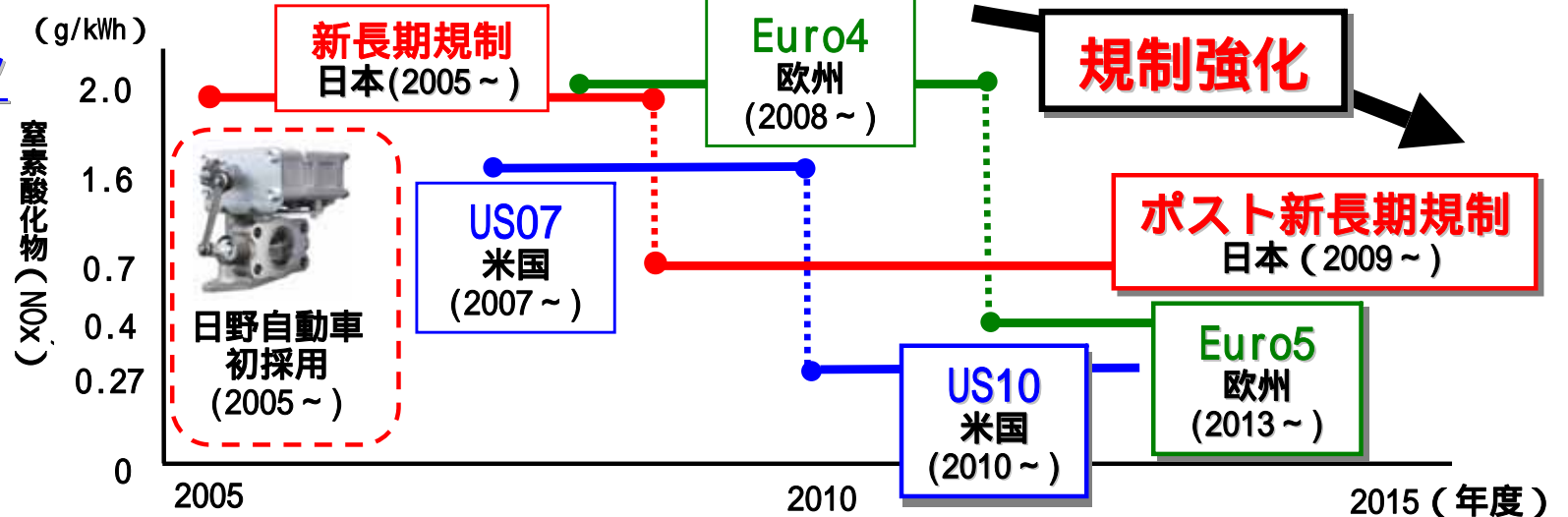
システム
部品

各エンジン排気量に対応したEGRバルブ

段階	量産・拡販	試作	先行開発
エンジン排気量	6 ~ 14 L (大型)	3 ~ 7 L (中型)	1 ~ 3 L (小型)
特徴	長寿命・低圧損 (軽量・コンパクト)	高応答性・低圧損 (軽量・コンパクト)	高気密・高応答性
写真			

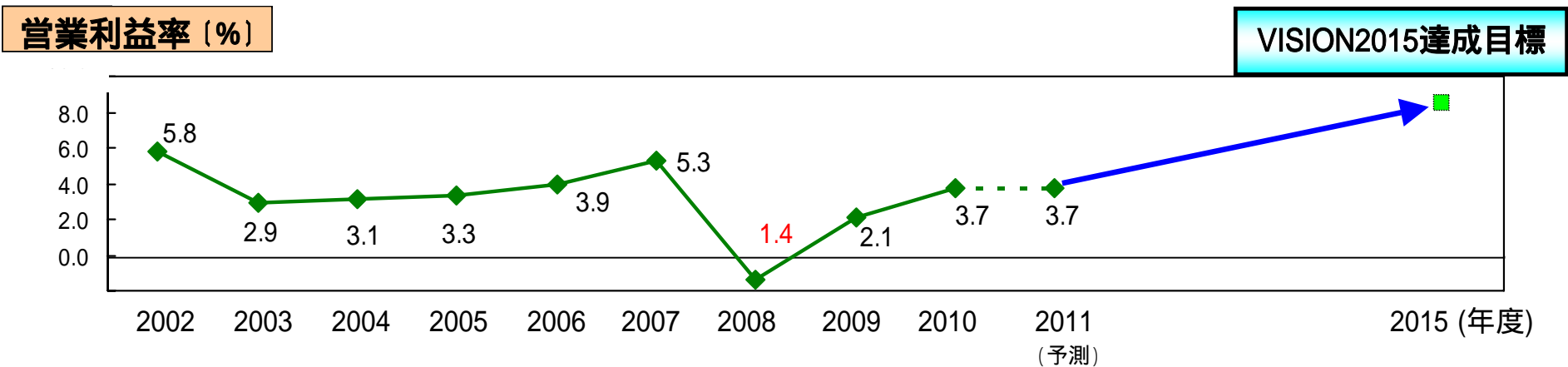
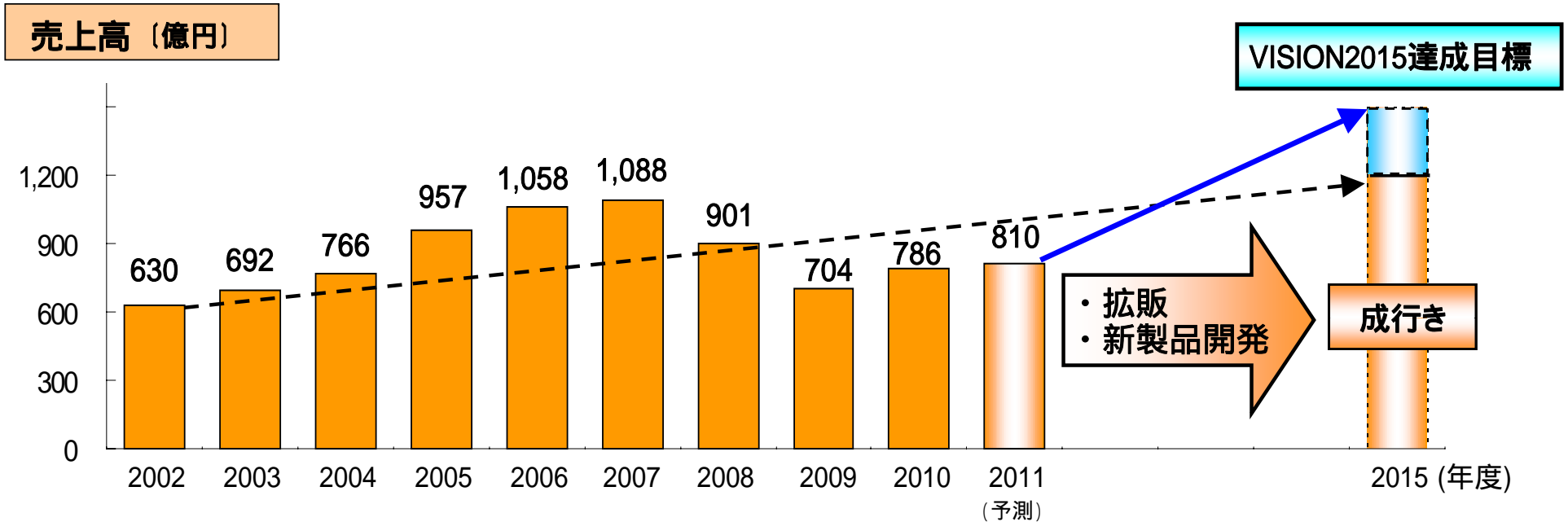
ディーゼルエンジン 排ガス規制の現状

出典：日本自動車工業会



排ガス規制の強化に先駆けた製品開発

3. VISION2015達成目標



企業努力により、成行きを上回る売上をめざす

4. VISION 2015 達成に向けて

潤滑・トライボロジーをコア技術として

軸受



市場ニーズの先取りと拡販活動で
軸受 1をめざす

システム事業



低燃費化
排ガス規制対応に
貢献することで
環境ブランドを確立

製品

受託業務



【中期経営目標】

1. 環境・安全・コンプライアンスが浸透した地球と社会にやさしい企業グループ
2. 技術・品質 NO.1のトップブランド商品を提供する企業グループ
3. 経営資源の最適配分により、世界に広がる企業グループ
4. 未来をになう人材を育成し、成長を続ける企業グループ

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先

大豊工業株式会社 総務部広報室

Phone 0565-28-2054

simasaki@taihonet.co.jp